

進路と仕事のこと

進む先を決める紙ではありません。どんな形があるかを、先に見ておく紙です。



働く形は、正社員か何もないか、の二択ではありません。

あいだに、段階のちがう形がいくつもあります。
いま想像がつかなくても、それはふつうのことです。

呼び名も、どこに何があるかも、住んでいる地域でちがいます。
ここに書けるのは、どこで聞けばいいか、までです。

進路と仕事のことで、引っかかっていること

あてはまるものにだけ印を。全部につける紙ではありません。右は、相談で聞いてみたいものに丸をつけてください。

- | | | | |
|--|--------------|--|--------------|
| ☐ この子が働いている姿が、まだ想像できない | 聞きたい・もう知っている | ☐ 本人が「やりたい」と言うことと、できることがちがったら、どうするか | 聞きたい・もう知っている |
| ☐ 働き方に、どんな形があるのかを知らない | 聞きたい・もう知っている | ☐ 働いて得るお金で、暮らしていけるのか | 聞きたい・もう知っている |
| ☐ 高校を出たあと、どこへ進む道があるのかを知らない | 聞きたい・もう知っている | ☐ 障害があることを、勤め先に伝えるかどうかで迷う | 聞きたい・もう知っている |
| ☐ 特別支援学校の高等部に入るのに、何が要るのかを知らない | 聞きたい・もう知っている | ☐ 一度決めた進路を、あとから変えられるのかを知らない | 聞きたい・もう知っている |
| ☐ いつごろから動きはじめるものなのかを知らない | 聞きたい・もう知っている | ☐ まわりの子と同じ道ではないことを、まだ受けとめられていない | 聞きたい・もう知っている |
| ☐ 実習や職場体験が、いつごろあるのかを知らない | 聞きたい・もう知っている | ☐ 進路の話を、まだ二人で一度もしていない | 聞きたい・もう知っている |
| ☐ 学校を出たあとも、相談できる先が続くのかを知らない | 聞きたい・もう知っている | ☐ まだ先のことだと思って、一度も調べたことがない | 聞きたい・もう知っている |

働き方には、こういう形があります 名前も、どこにあるかも、地域でちがいます。しくみは変わることがあります

会社に雇われて働く 障害者雇用の枠もあります。使うかどうかは、そのとき本人が決まります。

訓練を受けながら、就職を目指す 就労移行支援。体験や訓練の場に通いながら、仕事に就くことを目標にする形です。

通いながら働く 就労継続支援。雇用契約を結ぶA型と、結ばないB型があります。

日中を過ごす場に通う 生活介護。食事や入浴の支援を受けながら、活動や作業の場があります。

どれも、見学して・実習して・決めて、と段階があります。その準備は、学校にいるあいだに始まります。

この先、どこに聞くか（2つだけ）

- 1 いまの園・学校の先生に、進路の話がいつ始まるかだけ聞く**
「ここでは、いつごろから進路の話をしますか」だけで十分です。時期がわかれば、それまでに何を見ておくかが決まります。
- 2 発達障害者支援センターに聞く**
都道府県・政令市に置かれていて、相談のほかに**就労支援**も行っています。名前も置かれ方も地域でちがうので、市区町村の窓口で「発達の相談先」を聞けば教えてもらえます。

この紙は検査でも診断でもありません。ご相談のときに「どこから話すか」を決めるための材料です。

このシリーズは、1枚ずつ増えていきます。

いま起きていること —— 朝の支度／食事／お風呂から寝るまで／おでかけ・買い物／園・学校／ときどき起きること

この先の見通し —— 療育手帳／特別支援学級・特別支援学校／進路と仕事／頼れる先の地図／大人になってからの暮らしとお金